

DMG森精機株式会社

2022年度本決算(1-12月) 説明資料

2023年2月8日

1. 2022年度(2022年1-12月)決算概要

2. 事業環境

3. 2023年見通し。中期経営計画（2023-2025年）初年度

4. ESG / CSR進捗

- ① 人材投資：社員待遇改善、健康経営定着、女性活躍推進
- ② カーボンニュートラルの取り組み推進（第三者保証取得済）
- ③ ガバナンス強化：取締役及び監査役の多様性

2022年度 (1-12月) 決算ハイライト

DMG MORI

- ✓ 2022年度通期 (1-12月) 連結受注 5,424億円 (前年度比 19%増)
第4四半期 (10-12月) 連結受注 1,104億円 (前年同期比 5%減)
- ✓ 機械本体の受注残高 2,540億円(12月末)へ増加 (2021年12月末 1,640億円)
- ✓ 年度売上4,748億円(+20%)
営業利益 412億円(+79%、営業利益率:8.7%)、当期利益 254億円(+89%、当期利益率:5.4%)、営業利益、当期利益*とも過去最高
- ✓ 第4四半期(10-12月) 売上高1,417億円(+16%)、
営業利益145億円(2.3倍、営業利益率: 10.2%)、過去最高水準。営業利益率10%を超え、2023年度の営業利益率10%への布石
- ✓ 受注単価49.8百万円(2021年度平均: 39.4百万円) 工程集約、自動化、DX化、値引き率低減が寄与
- ✓ 人材への投資
 - グローバルで従業員の給与改定：人件費118億円増加。業界内最高水準
 - DMG森精機単体従業員は2022年7月から給与改定：年度換算ベースで従来比 24%増
 - 今2023年度及び中期経営計画に給与改定は織り込み済
- ✓ 中期経営計画 (2023-2025年) 実行開始：工程集約・自動化・DX・GXの進化

*AG連結時(2015年)に伴う変則決算期を除く

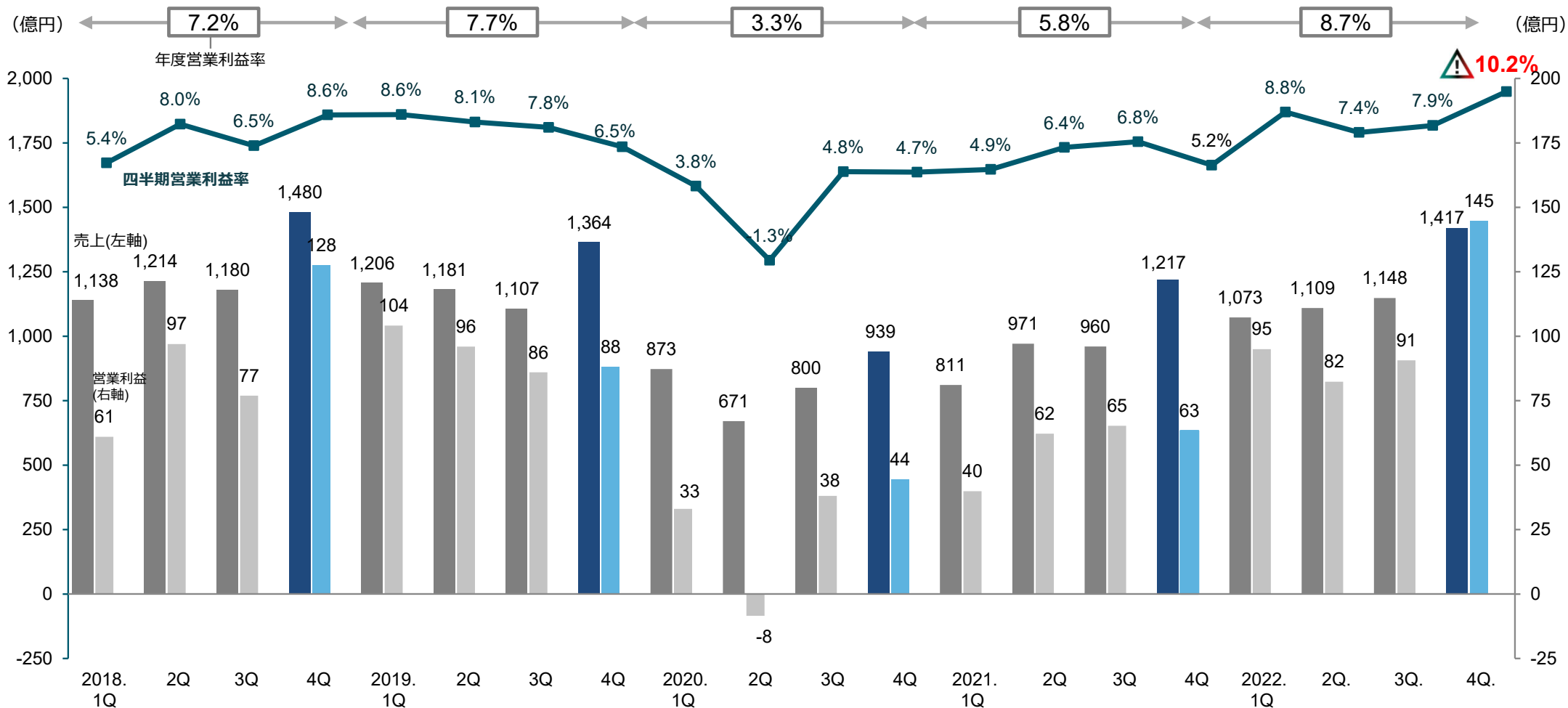
2022年度 (1-12月) 決算ハイライト

DMG MORI

(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績 YoY (%)
連結受注	4,094	2,797	4,560	5,424 +18.9%
売上収益	4,858	3,283	3,960	4,748 +19.9%
営業利益	373	107	231	412 +78.7%
営業利益率	7.7%	3.3%	5.8%	8.7%
当期利益	180	17	135	254 +88.7%
1株当たり当期利益 (円)	138.64	3.40	91.75	188.62
配当金 (円/株)	60	20	40	70
償却費(リース含む)	231	241	219	240
設備投資額	212	201	233	411
USD/JPY	109.1	106.8	109.8	131.5
EUR/JPY	122.1	121.8	129.9	138.1

四半期業績推移

- 第4四半期(10-12月)の営業利益率 10.2%は最高水準(有価証券売却益などの要因を除くベース)
- 第4四半期はロシア事業の減損(15億円)、期末での為替変動による追加評価損を計上

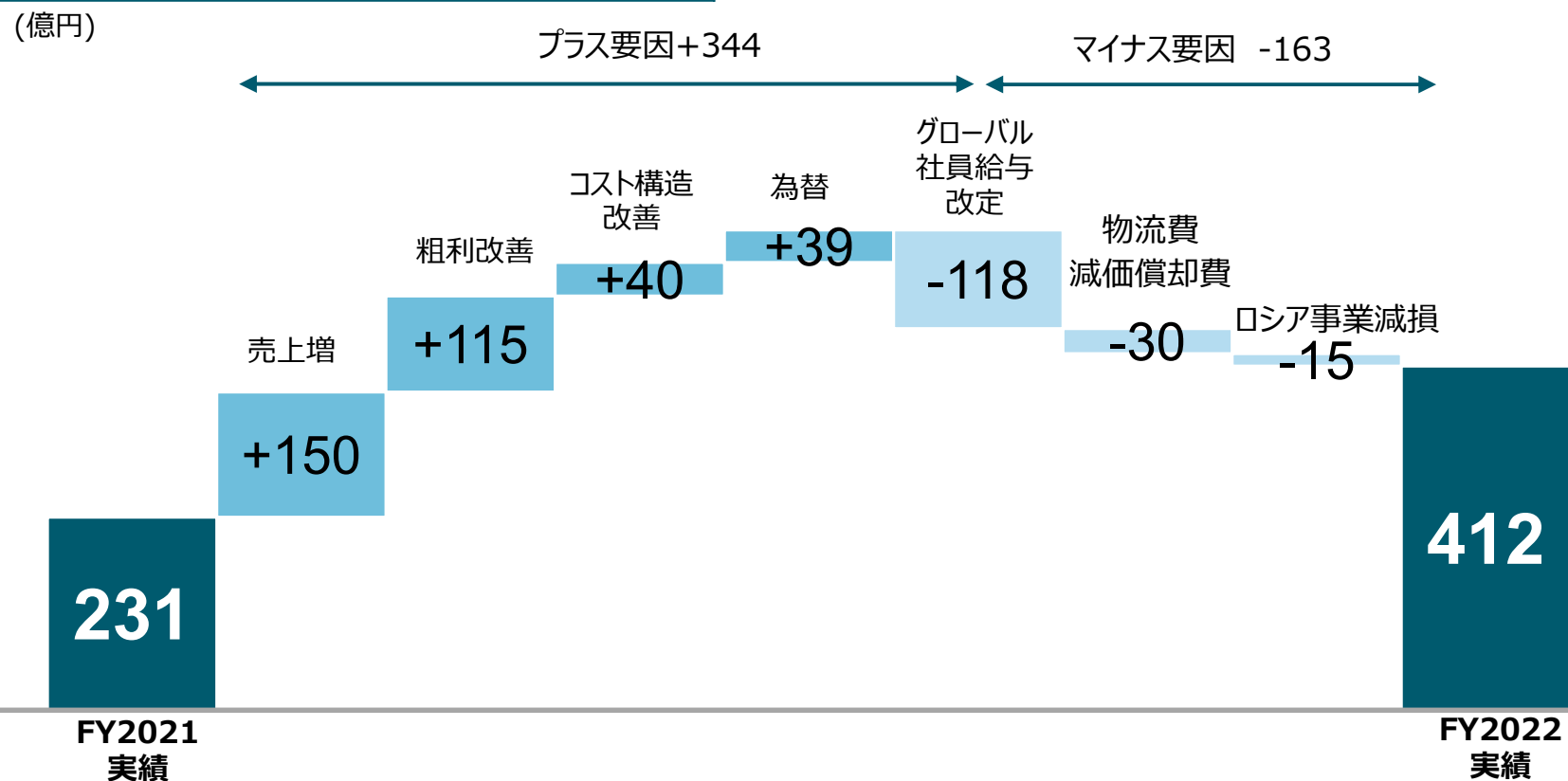


営業利益増減分析 2021年度 (1-12月) vs 2022年度 (1-12月)

- ・グローバルで従業員の給与改定。DMG森精機単体従業員の給与を7月から改定(今期6ヵ月分反映)。年度換算の平均年収は2021年度比24%増
- ・工程集約、自動化、DX化、GX化提供による値引き率低下が大幅寄与

(億円)	FY2021	FY2022	増減
売上収益	3,960	4,748	+788

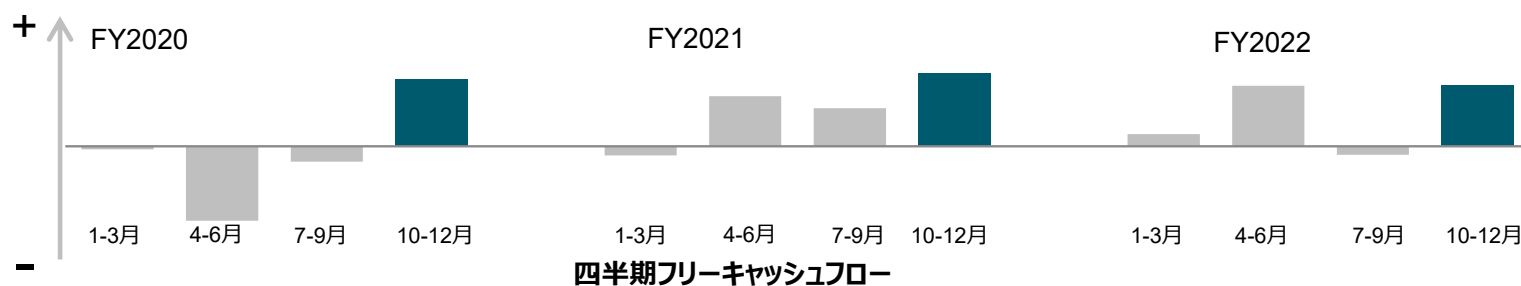
為替レート:	USD/円	<u>FY2021</u> 109.8	<u>FY2022</u> 131.5
	EUR/円	129.9	138.1



キャッシュ・フロー

- 収益率の改善、前受金増により営業キャッシュフローは697億円（前年度比+200億円、+40%）
- 工程集約、自動化需要向け伊賀・奈良工場再編、フロンテン工場の生産性改善、奈良PDC完成、CO2削減など中長期持続成長投資加速

(億円)	2020					2021					2022				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
営業キャッシュフロー	25	-109	-5	226	136	26	134	106	231	497	125	236	101	235	697
税引前四半期利益	13	-18	28	28	51	31	54	56	55	196	89	74	80	122	365
償却費	59	57	58	67	241	55	54	53	57	219	56	60	58	66	240
運転資本増減	44	-106	-54	140	22	-35	53	23	65	106	-18	99	-9	51	123
その他	-90	-42	-37	-9	-178	-25	-27	-27	55	-24	-2	4	-29	-3	-31
投資キャッシュフロー	-31	-39	-25	-93	-189	-45	-34	-30	-85	-194	-101	-115	-118	-115	-449
フリーキャッシュフロー	-6	-149	-31	133	-52	-18	100	76	146	304	24	121	-17	121	249

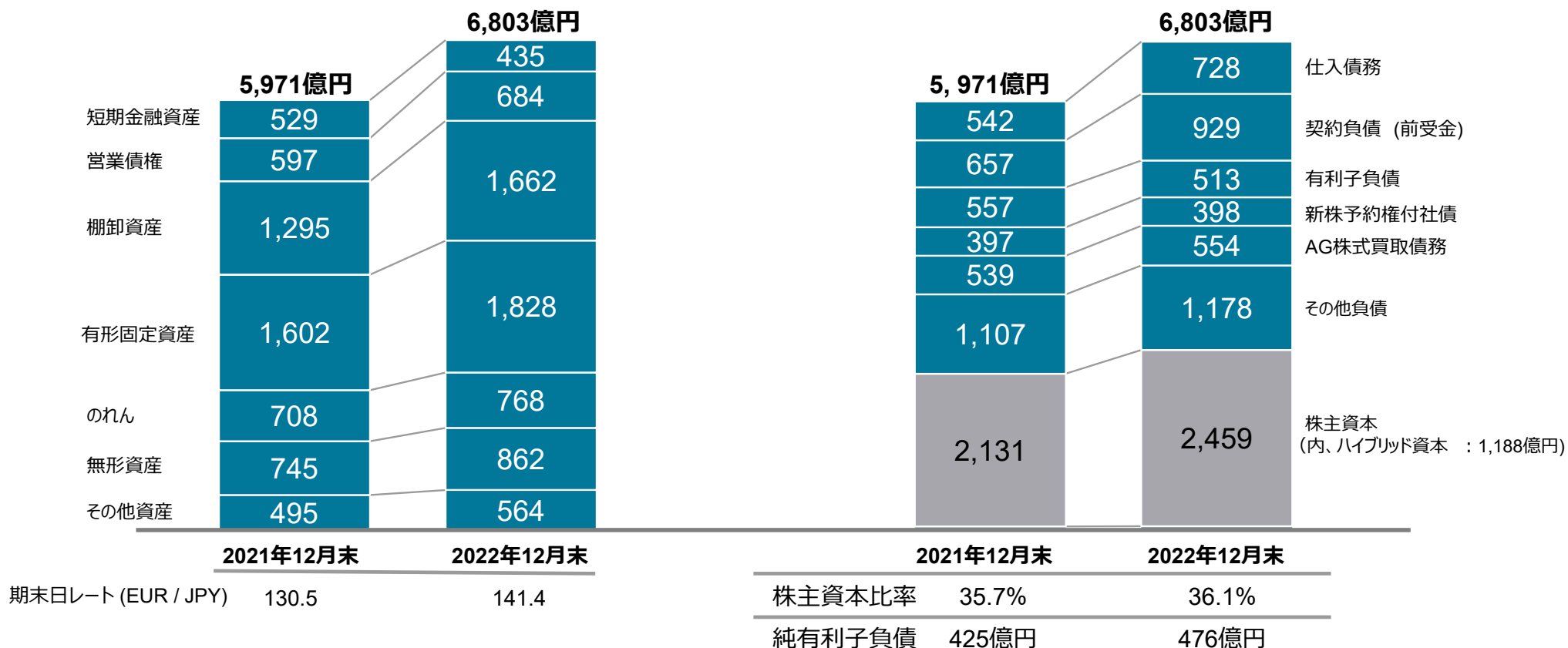


貸借対照表サマリー

- ・ 円安による総資産増加影響額は450億円
- ・ 収益性改善により株主資本比率は36.1%へ上昇。Net D/Eレシオは0.19と低位横ばい

資産の部

負債・資本の部



12月末 Net D/Eレシオ **0.19** (2021年12月末 0.20)

1. 2022年度(2022年1-12月)決算概要

2. 事業環境

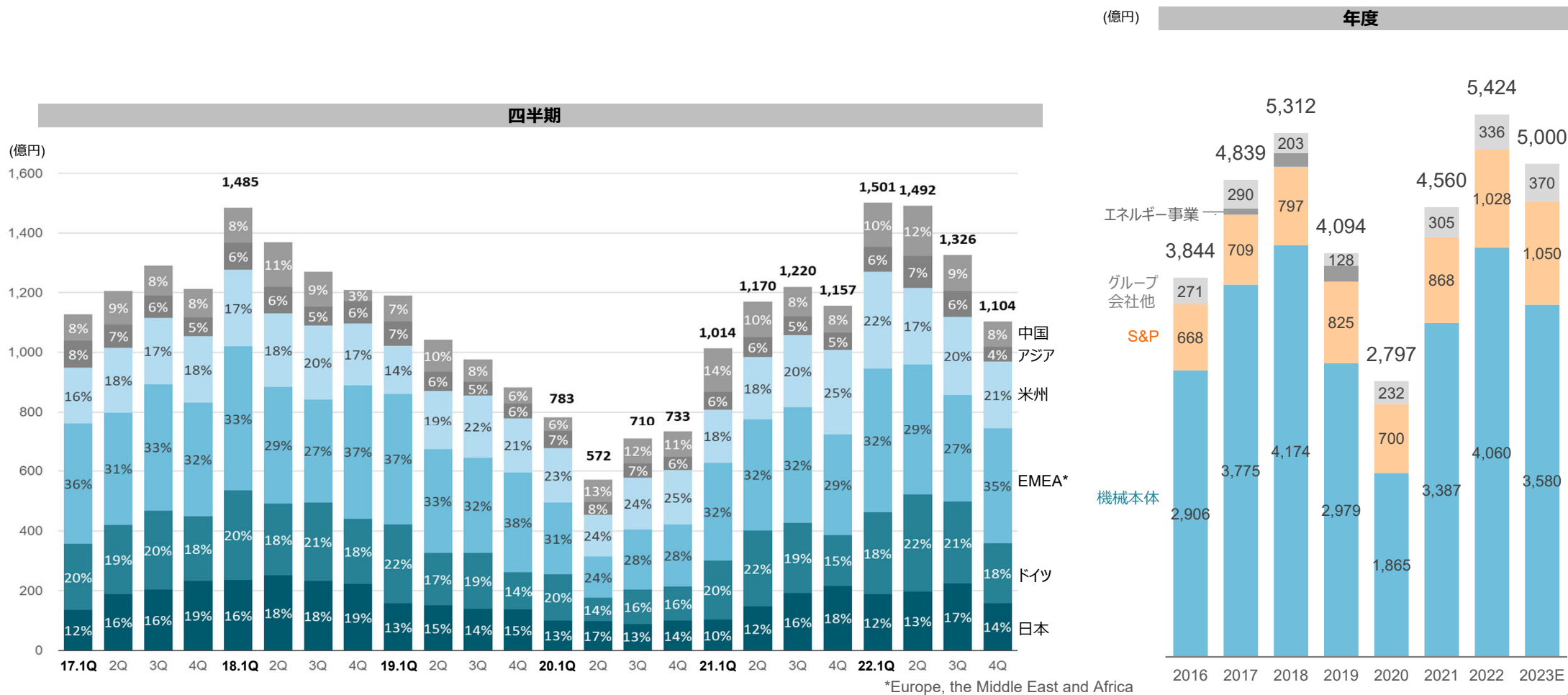
3. 2023年見通し。中期経営計画（2023-2025年）初年度

4. ESG / CSR進捗

- ① 人材投資：社員待遇改善、健康経営定着、女性活躍推進
- ② カーボンニュートラルの取り組み推進（第三者保証取得済）
- ③ ガバナンス強化：取締役及び監査役の多様性

連結受注推移

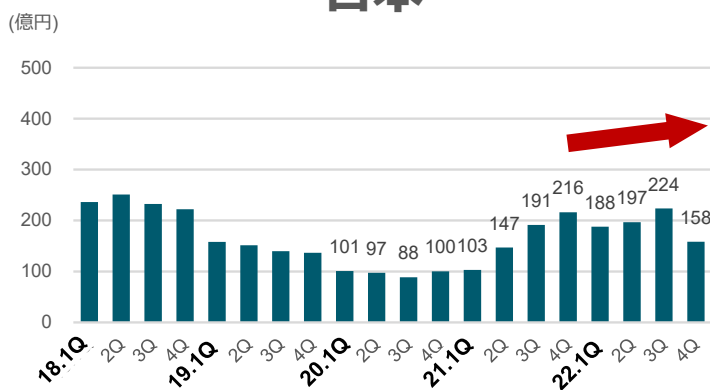
- 2022年度連結受注金額は5,424億円(+19%)とピーク更新
- 2023年度は8%減の5,000億円計画。スペアパーツ・サービス、グループ会社など安定収益部門の受注は引き続き拡大見込み



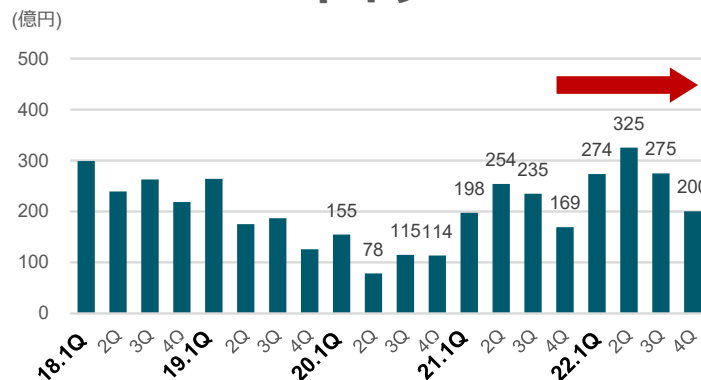
地域別受注推移

- 全市場とも引合いは堅調に推移。工程集約、自動化、DX化、GX化需要は旺盛
- 欧州市場も、2023年度第1四半期は独フロンテンでのオープンハウスで増加期待

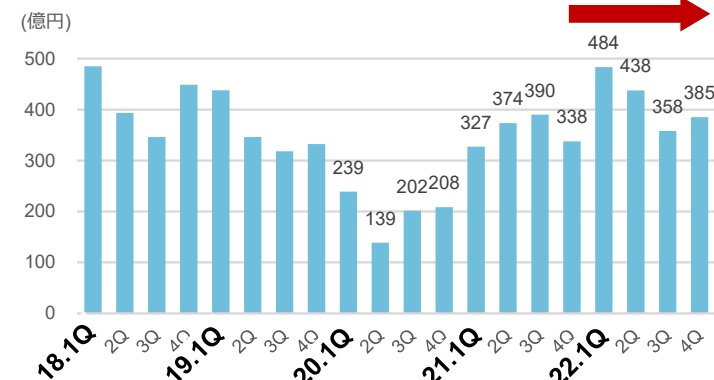
日本



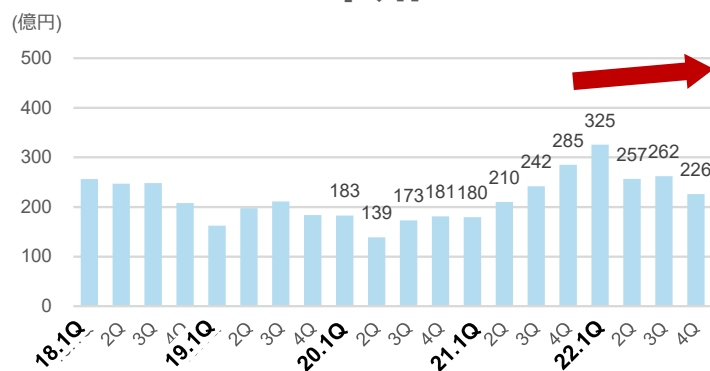
ドイツ



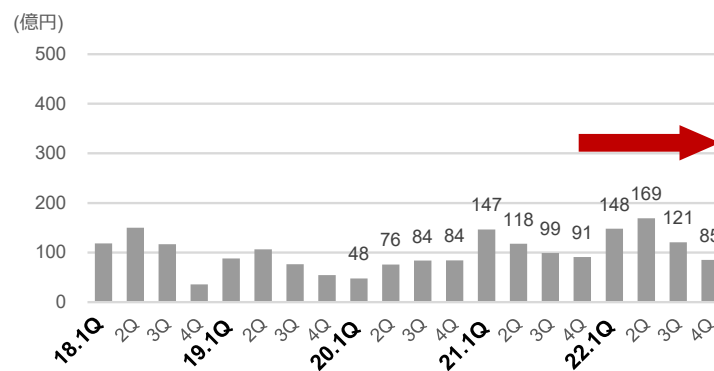
EMEA *Europe, the Middle East and Africa



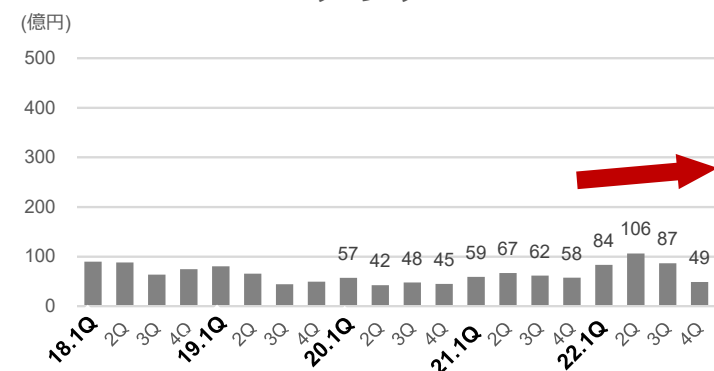
米州



中国



アジア

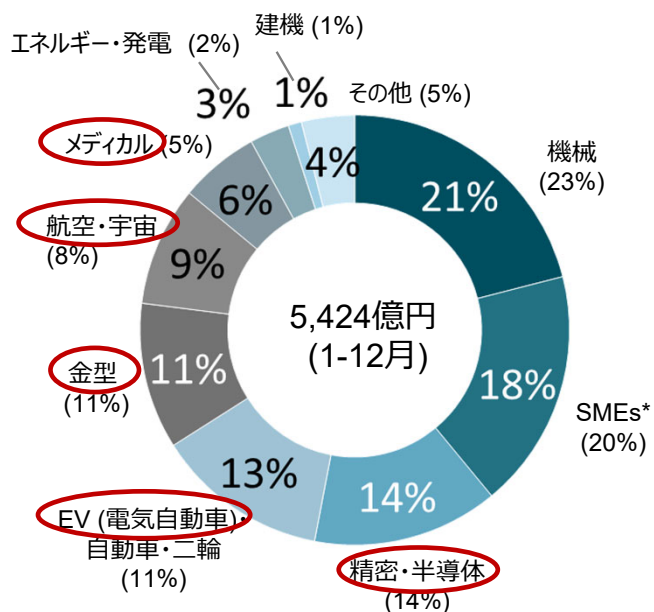


連結受注構成 (1-12月)

- 宇宙、航空、メディカル、EV関連の受注は堅調
- 小規模企業の設備投資の意思決定期間は長期化。一方、中堅・大手企業の投資は継続

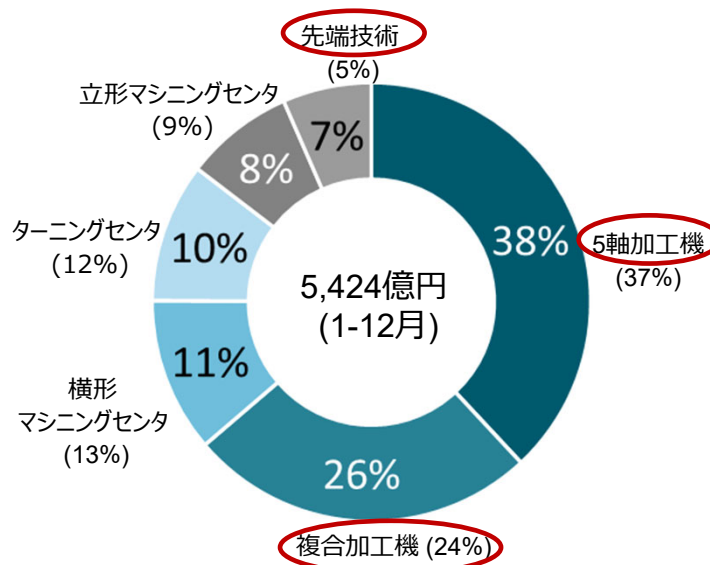
※金額ベース
※カッコ内：2021年1-12月

業種別

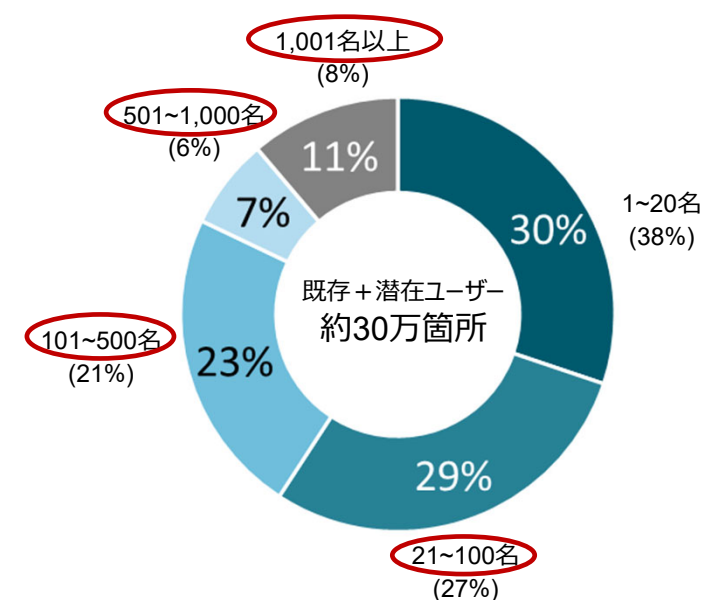


*Small and medium-sized enterprises

機種別

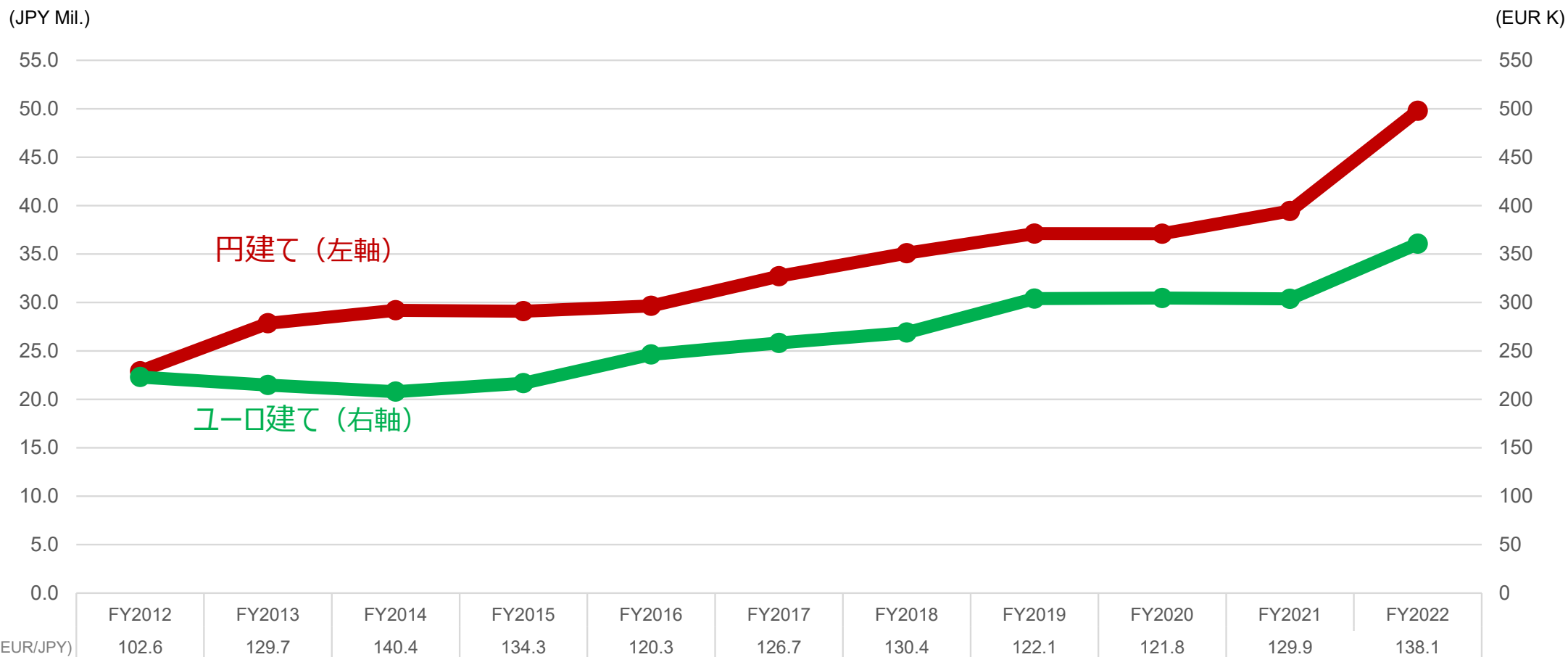


規模別



1台あたりの機械受注単価推移

- 2022年度の受注単価は 49.8百万円 へ大きく伸長 (2021年実績 : 39.4百万円)
- 工程集約、自動化、DX化、値引き率低減が寄与



1. 2022年度(2022年1-12月)決算概要

2. 事業環境

3. 2023年見通し。中期経営計画（2023-2025年）初年度

4. ESG / CSR進捗

- ① 人材投資：社員待遇改善、健康経営定着、女性活躍推進
- ② カーボンニュートラルの取り組み推進（第三者保証取得済）
- ③ ガバナンス強化：取締役及び監査役の多様性

2023-2025年中期経営計画で目指す姿：

MX (マシニング・トランスフォーメーション)

DMG MORI

工程集約

自動化

GX

GX: グリーン・トランスフォーメーション

DX (デジタル・トランスフォーメーション)

生産計画

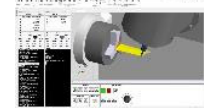


CELOS

- ・ジョブ・スケジューラー
- ・ジョブ・マネージャー

加工準備

CELOS DYNAMICpost



- ・CAD/CAM VIEW
- ・テクノロジーサイクル

サービス・トレーニング

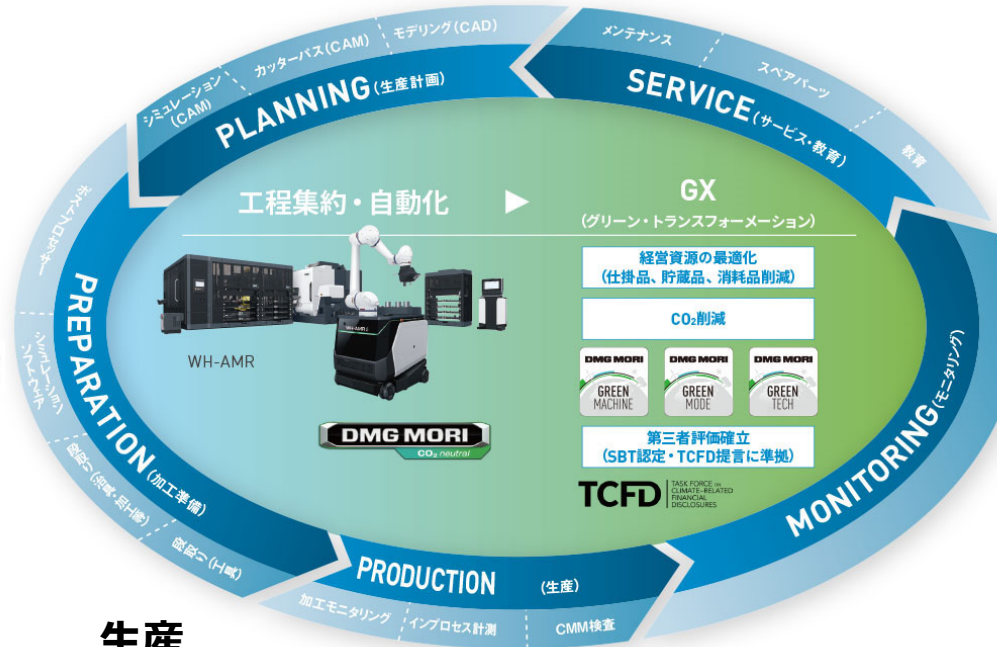


- ・my DMG MORI
- ・CELOS Club

モニタリング



- ・メッセンジャー
- ・IoT Connector



生産



- ・「加工3悪」ソリューション
- ・非接触机上計測システム

2023年12月期 通期業績計画

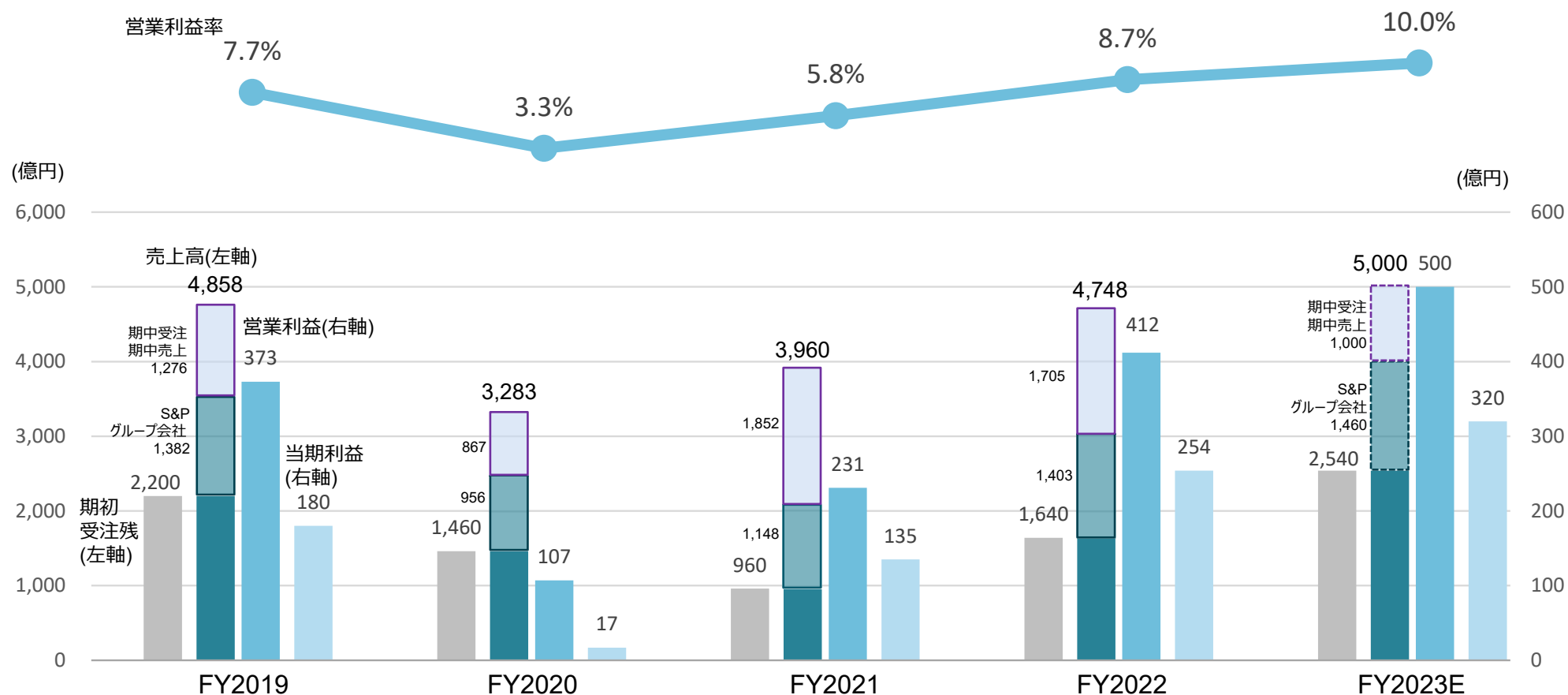
DMG MORI

- 営業利益、当期利益は最高益更新計画
- 1株当たり配当金80円へ増額

(億円)	2019年	2020年	2021年	2022年		2023年	
	実績	実績	実績	実績	YoY (%)	計画	YoY (%)
連結受注	4,094	2,797	4,560	5,424	+18.9%	5,000	-7.8%
売上収益	4,858	3,283	3,960	4,748	+19.9%	5,000	+5.3%
営業利益	373	107	231	412	+78.7%	500	+21.3%
営業利益率	7.7%	3.3%	5.8%	8.7%		10.0%	
当期利益	180	17	135	254	+88.7%	320	+26.0%
1株当たり当期利益 (円)	138.64	3.40	91.75	188.62		240.95	
配当金 (円/株)	60	20	40	70		80	
償却費(リース含む)	231	241	219	240		270	
設備投資額	212	201	233	411		350	
USD/JPY	109.1	106.8	109.8	131.5		130	
EUR/JPY	122.1	121.8	129.9	138.1		140	

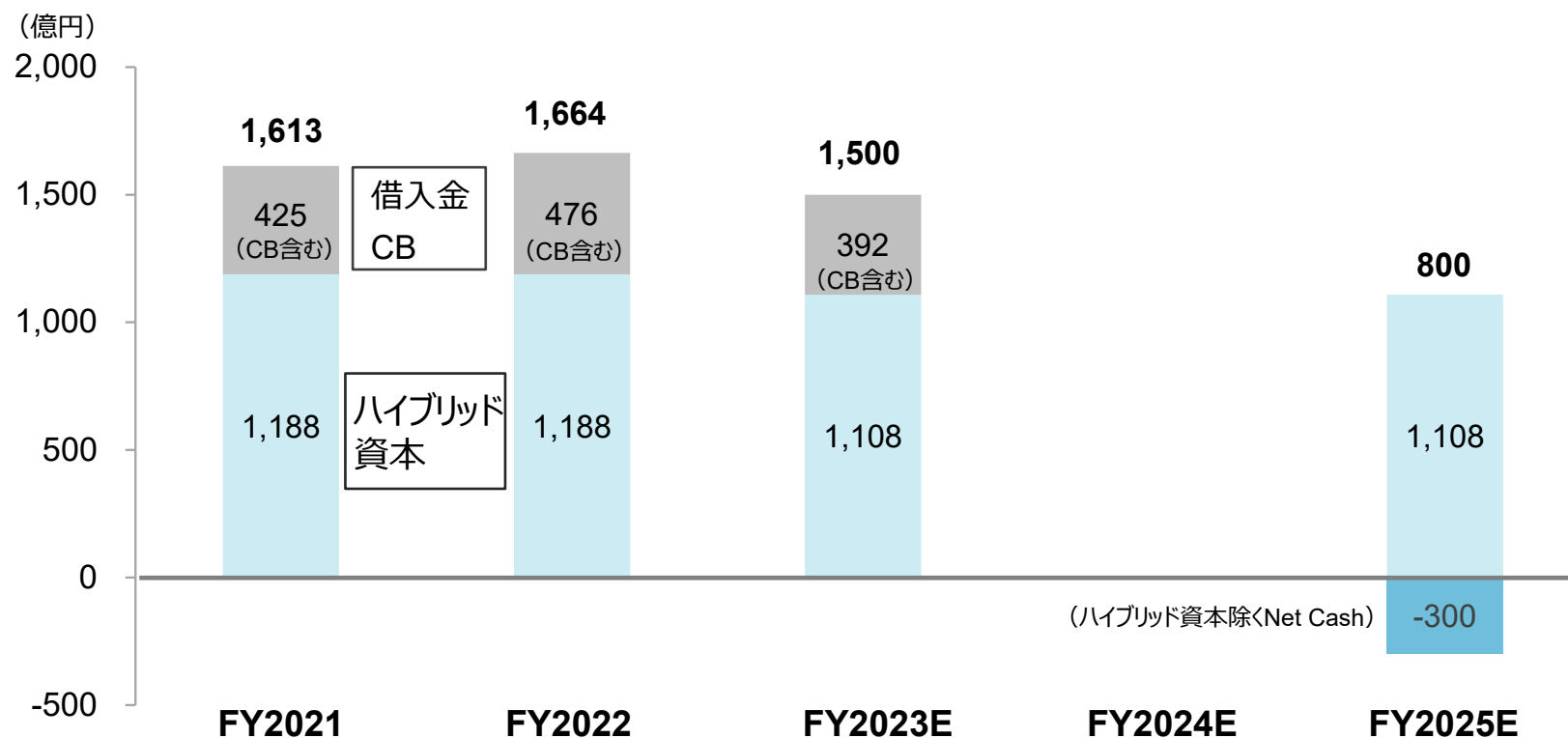
2023年12月期 売上構成計画

- 2023年12月期 売上5,000億円：受注残からの売上2,540億円、S&P及びグループ会社1,460億円、期中受注期中売上1,000億円
- 工程集約、自動化、DX化により収益率は引き続き改善。営業利益率10%以上を達成計画



2025年12月期 純有利子負債残高削減計画

- 2023年12月期 純有利子負債残高 1,500億円計画。CB除く借入残高はゼロ
- 2025年12月期 純有利子負債残高 800億円計画



	FY2021	FY2022	FY2023E	FY2024E	FY2025E
フリーキャッシュフロー	304億円	249億円	300億円	300億円	400億円
設備投資 (Capex)	233億円	411億円	350億円	350億円	300億円
1株当たり配当金	40円	70円	80円	90円	100円

30.01. - 11.02.2023

DMG MORI
OPEN HOUSE 2023
PFRONTEN

Jan 30 - Feb 03 & Feb 06 - 11, 2023
Mon - Fri 9:00 a.m. - 6:00 p.m. | Sat 9:00 a.m. - 2:00 p.m.

DMG MORI OPEN HOUSE
IN PFRONTEN

TWO
WEEKS
OPEN

WORLD
PREMIERES
2023

DMF 300I11

DMU 65/75
monoBLOCK
2nd Gen.

DMU 40

M2

T1/T2

CTX 350

XXL Center

XXL Center

1. 2022年度(2022年1-12月)決算概要

2. 事業環境

3. 2023年見通し。中期経営計画（2023-2025年）初年度

4. ESG / CSR進捗

- ① **人材投資：社員待遇改善、健康経営定着、女性活躍推進**
- ② **カーボンニュートラルの取り組み推進（第三者保証取得済）**
- ③ **ガバナンス強化：取締役及び監査役の多様性**

新卒初任給の改定（2023年4月入社）

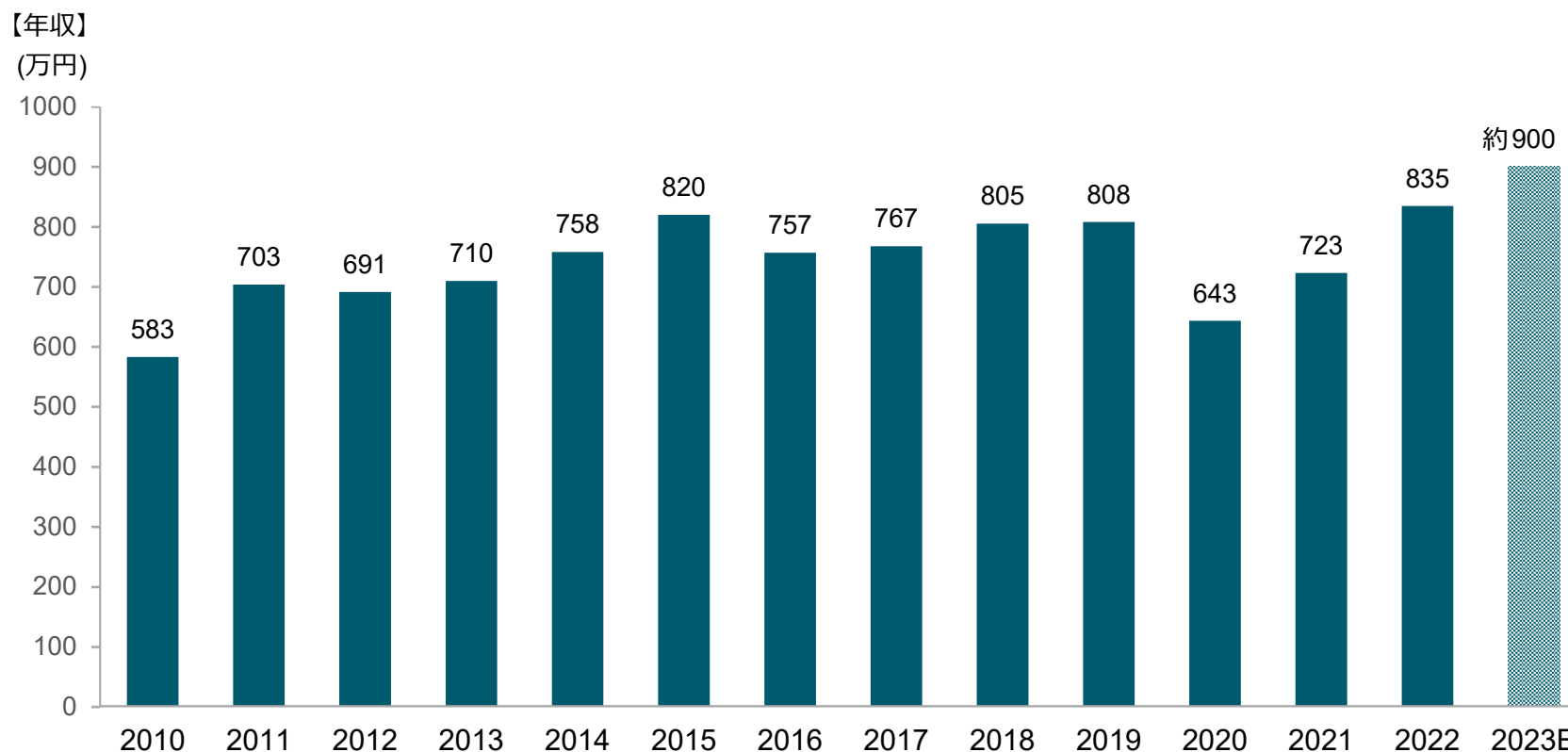
卒業・学位	標準年齢	初任給	初任年収
博士	27歳	475,000円* ¹	6,825,000円* ²
修士	24歳	310,000円	4,650,000円
大学(学部卒) 高等専門学校専科	22歳	300,000円	4,000,000円
高等専門学校本科 短期大学	20歳	290,000円	3,700,000円
高等学校	18歳	280,000円	3,500,000円

*¹ 資格給5万円、技能給10万円含む

*² 技能給120万円含む

対象：DMG森精機単体従業員

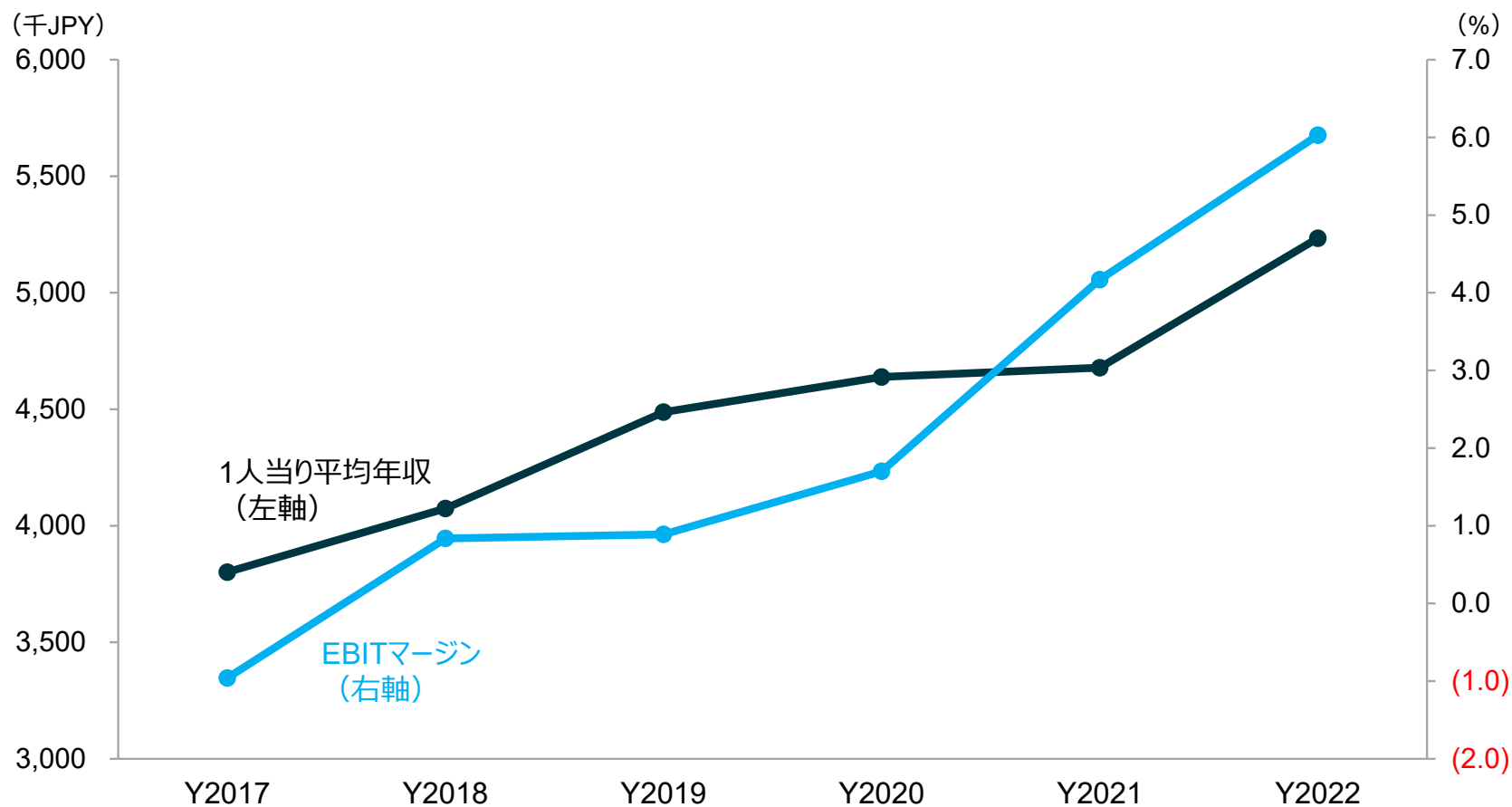
✔ DMG森精機（日本）の給与改定(7月1日)、今期6カ月反映。2023年度はフル給与



基本給・資格給・役職給・賞与・子女手当・住宅手当・時間外労働手当含む。

寮・社宅・食事手当・通勤手当・持株会奨励金・保育費補助・帰省旅費・人間ドック補助・その他福利厚生に関わる支給は除く。

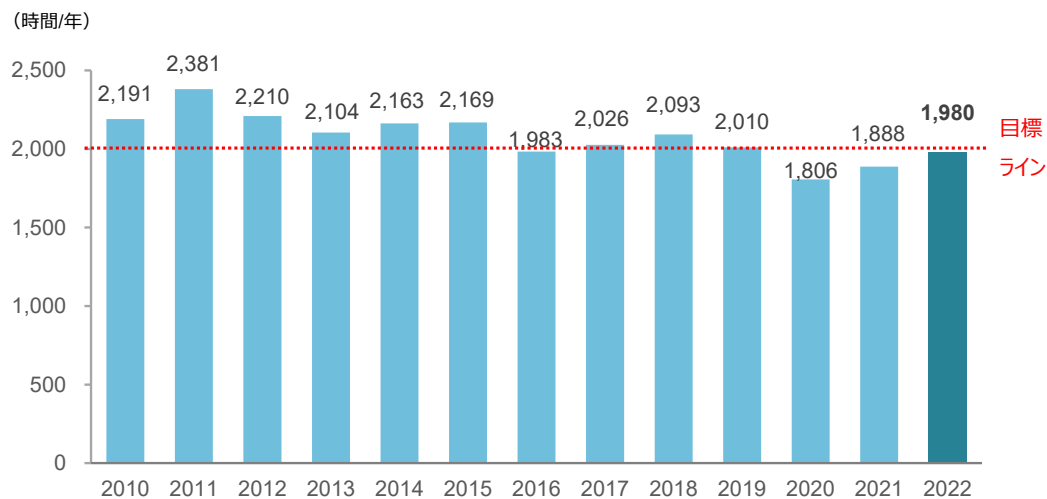
給与水準の改定は利益率の改善に貢献（DMG MORI China）



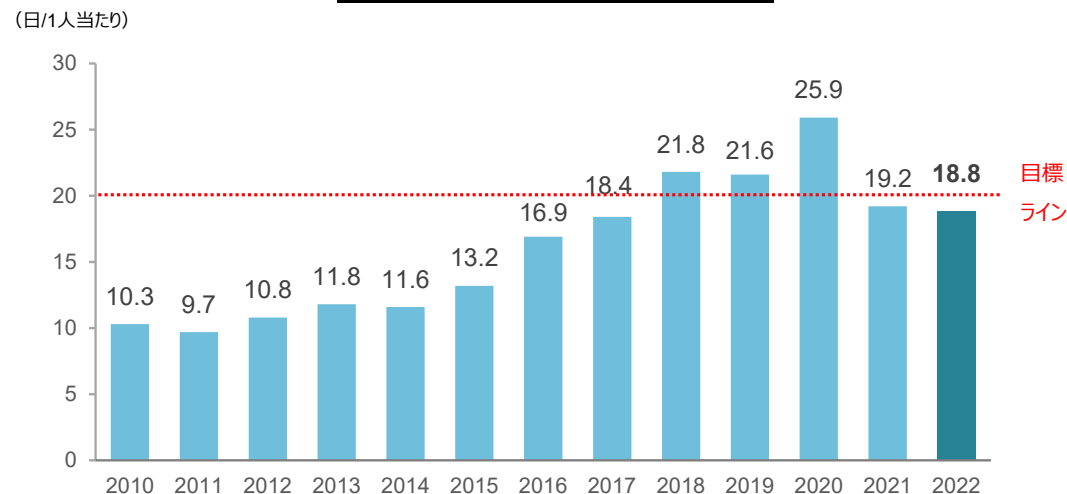
(1元=18.8円で換算)

過去最高水準の受注環境下でも、DX化等により総労働時間を目標水準に維持

平均総労働時間



平均有給休暇取得日数

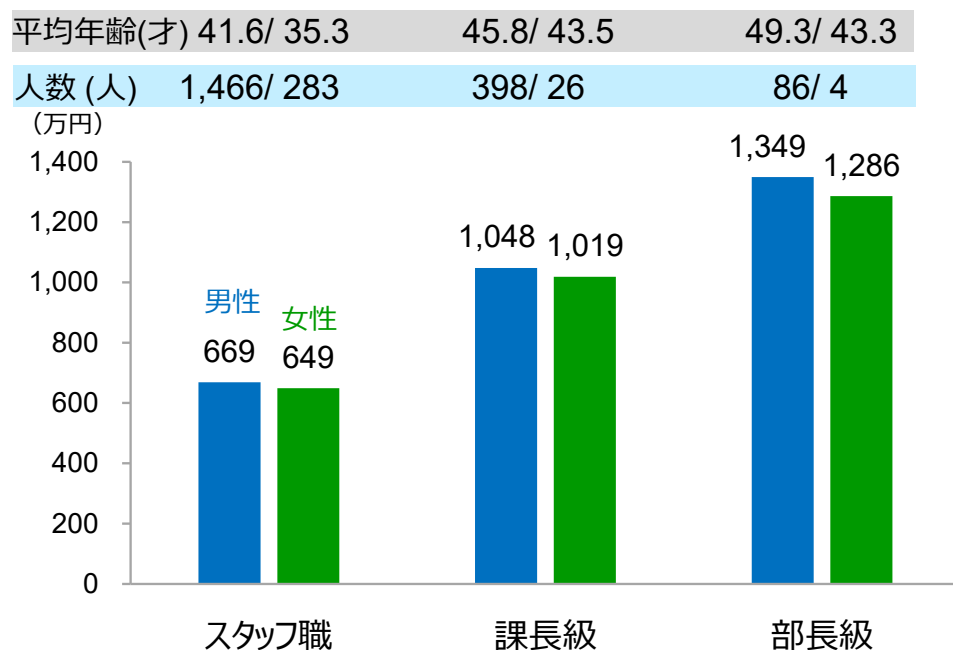


対象：DMG森精機単体従業員

- ✔ 男女の別ない賃金水準を実践。女性活躍推進を進める
- ✔ 2025年にかけて、女性管理職比率の向上に取り組む

■ 男女別平均年収（2022年度）

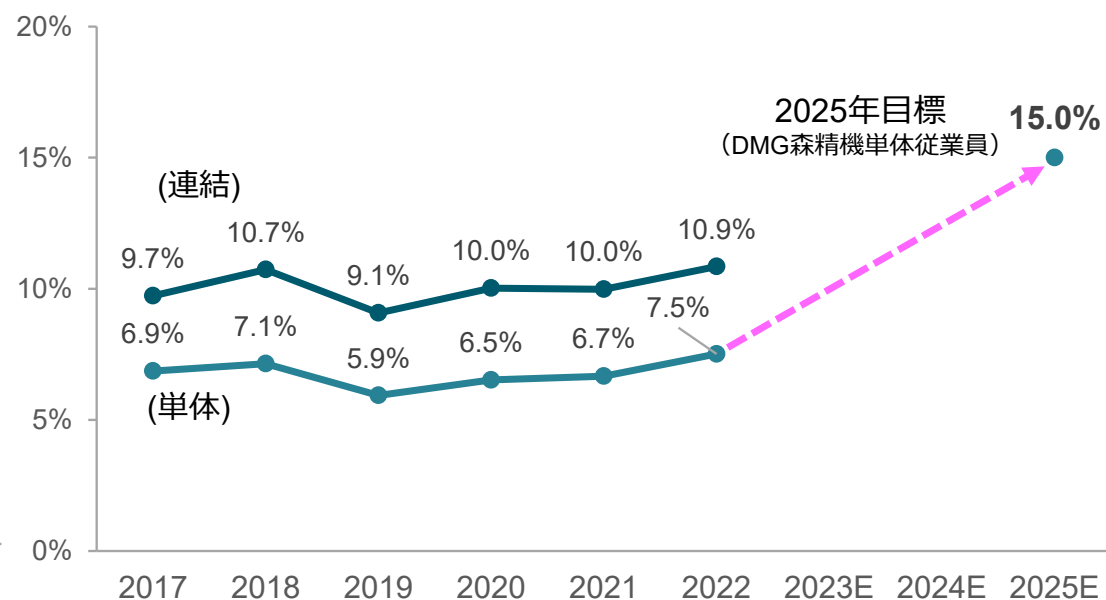
※当社の基準に基づく役職別集計



対象：DMG森精機単体従業員

■ 女性管理職比率の推移

※当社の基準に基づく集計



✔ SBTに基づく認定の削減目標設定済

2022年CO₂排出量実績*は、SBT認定計画を約6%下回る排出

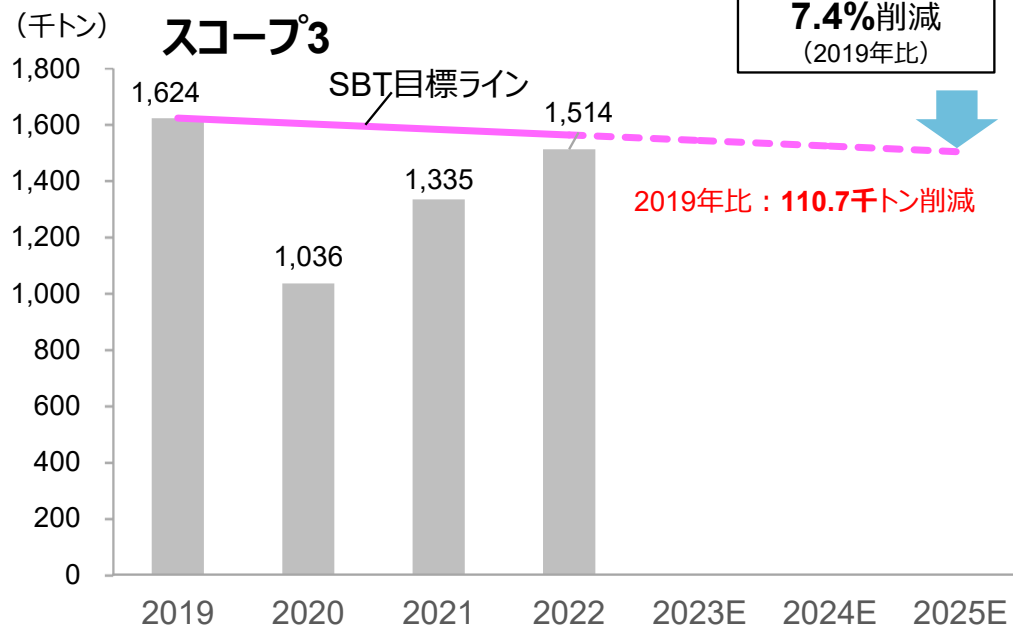
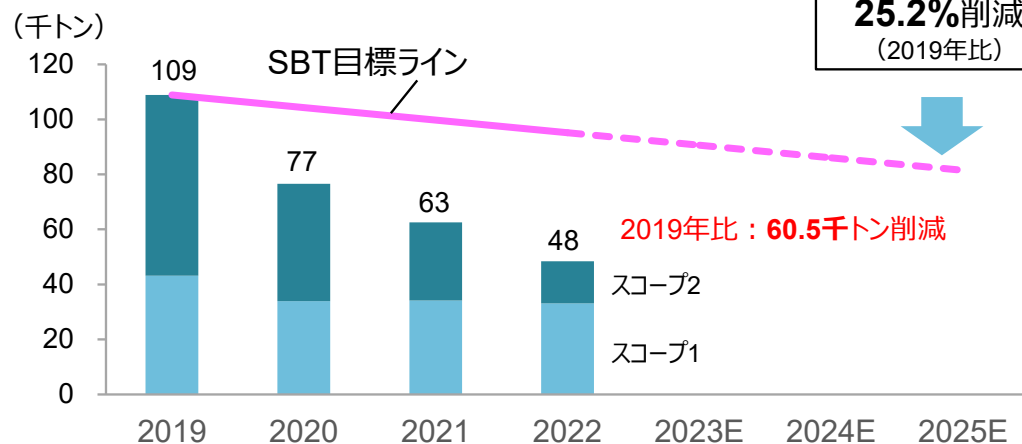


*暫定値

✔ スコープ3の削減目標を従来の2.0°C目標から1.5°C目標に変更し、SBTの認定取得計画中

✔ 2021年1月来、グローバルで生産する工作機械についてスコープ1からスコープ3の上流までのカーボンニュートラルを達成
(グローバルに認証されたカーボンクレジットの利用、PricewaterhouseCoopers GmbHによる第三者保証取得)

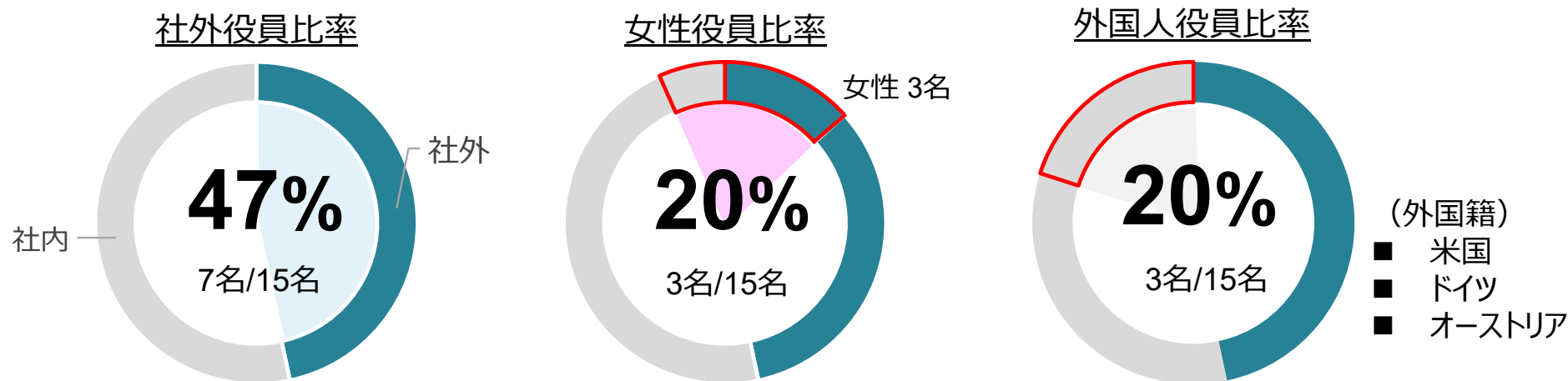
スコープ1及び2



✔ 新任取締役候補者（2023年3月28日開催の株主総会での承認を経て確定）

区分	候補者氏名（敬称略）	担当及び重要な兼職の状況
社内	Irene Bader (イレネ・バダー)	専務執行役員 グローバルコーポレートコミュニケーション担当
社外	光石 衛 (みついし まもる)	東京大学名誉教授 早稲田大学次世代ロボット研究機構研究員客員教授（現任）ほか
	河合 江理子 (かわい えりこ)	京都大学名誉教授 三井不動産株式会社 社外取締役ほか（現任）

✔ ジェンダー・国籍ダイバーシティの拡充（選任後。取締役及び監査役を含む）



当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。

これらの将来に関する記述は、

当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更
- COVID - 19に関する日本国及び諸外国の渡航又は自宅待機規制の動向